

## 第7回 区民ふれあい運動会開催



10月16日 運動会には絶好の日和、第7回区民ふれあい運動会が公民館西広場で開催され幼児からお年寄りまで250名余の参加があった。子供会の磯谷百花さん、今田光則くんの元気いっぱいの宣誓につづき競技が開始された。10種目の競技で老若男女全員が参加できた。大玉転がし、パン喰い競争ではパンが無くなるまで参加者があった。



組対抗綱引き

は、組の単独チームや組の合併チームなどで11チームのトーナメント戦、予想通り6組の優勝でした。小学生対お年寄りの紅白玉入れは、籠の高さのハンデーが影響して小学生の2連勝でした。こうして各種目で隣組や、子供達、お年寄りの方とお互いにふれあいを深めた秋の半日でした。

## 秋の環境美化活動



9月11日(土)秋の環境美化活動が行われた。今回は、平成15年4月に、地元自治区内に北消防署の庁舎が竣工してから、はじめて区主催行事の集合場所を施設見学と兼ね、北消防署広場にした。消防2課、山本消防指令から管内概要、特殊車両の説明、初期消火

の訓練を受けた。はしご車の試乗では多くの方が体験が出来なかったが、なかには親子連れで体験できた幸運な方もみえた。こうした消防職員とのふれあいを通じて、地元消防署の理解を一層深めることができた。その後、各組の生活路、公民館広場、お鋤山に分かれ、残暑のなか汗をかきながらの作業を実施した。



## 敬老会

9月12日(日)区主催の平成16年度下古屋敬老会を子供会、女性会、福祉委員、各種団体や同好会などのご協力を得て開催された。

本年度のご招待者(昭和5年以前生まれ)は、74名(男36名、女38名)で、その内51名(69%)の方々が出席された。お祝いの式、子供会の童謡発表や(手話つき)、花束、記念品の贈呈などが行われた。

会食をとりながら余興の民踊、カラオケ、歌謡民踊、



銭太鼓、また飛び入りで小栗まささんの「ざんざ節」などで大いに盛り上がった。



## 台風22号によるてんやわんや

10月7日 早朝 秋の八柱神社例大祭を祝う「奉納御神前」のノボリ建てが氏子連有志により行われた。

10月8日 午前 氏子連有志による新ご拝殿竣工式に餅を奉納する引き車や御神輿の飾り付けの準備をしました。

午後、台風22号による秋雨前線の刺激で雨脚が激しくなってきた。

気象庁は「台風22号が関東から四国にか



けて接近し、上陸の可能性もある。」と警戒を呼びかけている。氏子連有志は、新築されたばかりの新ご拝殿に満が一の事態があつてはと考へ、神社と協議し午後、ノボリを降ろす苦渋の決断をした。

10月9日 午前 新築されたご拝殿で八柱神社氏子総代一同、拝殿建設委員会一同、区役員、神社係一同が勢揃いして竣工式典が行われた。

祝賀の餅投げ、前夜祭の七度参り、棒の手の奉納は中止となったが、午後5時からの神

事は行われた。

10月10日 この地方は、台風22号の直撃を免れ、大した被害も無く、雨もあがり絶好の祭り日和になった。

午前 八柱神社神前で氏子総代一同、区役員、学校関係者、神社係など一同が勢揃いして秋の例大祭式典が盛大に行われた。木の香りも新しいご拝殿では、5地区から選抜された10名の巫女（下古屋の巫女 永井友梨さん、櫻原まりさん）によるお神楽が奉納された。



境内では、子供獅子、お御輿を担いだ子供達、付き添いの父兄、役員の方たち150名余のお払いが行われた。

午後 祭りのクライマックス「棒の手」「献馬」の奉納が開始。揃いの股引き、脚半、手甲、草鞋履きという勇ましい出で立ちで、八鎮、大先、掛合役、杖つき、子供連、若連、中老と続き、



市内五流派(愛知県無形民俗文化財指定)(伊保町初参加)が、総勢300名余で法螺貝を鳴らしながら行進「ホッサイ」「ホッサイ」の掛け声勇ましく八柱神社西の鳥居から境内に入場した。

花火が鳴り渡り、行列はお拝殿前で整列、境内は、参拝者、見物客で黒山のようにいっぱいになっている。子供連の棒の手から奉納が始まった。

夏休み中熱心に練習した「トー」「ヤー」の掛け声勇ましい子供連の演技に感激した観客からお捻りが飛んだ。

こうした祭りを盛り上げるのは、保存会、演技者、観客の共同作業、どれが欠けても成り立たない。そんな原点を思い出させてくれた。

奉納演技が進み、棒の手の達人達による妙技が披露されると観客から一段と大きな歓声が境内にこだまし、祭りは最高潮に達した。揚棒を最後に、引馬場をして隊列は境内から引き下がった。楽しい祭りの一日でした。(参考：郷土の棒の手誌)

奉納演技が進み、棒の手の達人達による妙技が披露されると観客から一段と大きな歓声が境内にこだまし、祭りは最高潮に達した。揚棒を最後に、引馬場をして隊列は境内から引き下がった。楽しい祭りの一日でした。(参考：郷土の棒の手誌)

## マスタープラン 地区別懇談会の開催

9月30日(木)市(都市計画課)主催の都市計画マスタープランの井郷地区構想(原案)をとりまとめるにあたり、原案の説明会が開催されました。

これは、平成7年公表の現行「豊田市都市計画マスタープラン」の見直しが進められている中で区民の意見を聞きながら、地区構想の検討が行われています。

なお、平成17年度中に新しい「豊田市都市計画マスタープラン」が公表される予定です。  
【問合せ・連絡先】市都市計画課(土地利用・都市施設担当)までお尋ねください。

TEL : 0565-34-6620

FAX : 0565-32-9479

### 井郷地区 地区別構想 素案原案

(都市計画マスタープラン)

目 標	まちづくり方針	具体的な取り組み
安全で安心して暮らせるまちづくり	住環境の改善	◎住民主体のまちづくり支援 ◎地区計画等による住環境の改善 ○生活道路、歩道の整備 ◎公共下水道の整備
	防災・防犯まちづくりの推進	◎住民主体による、防災・防犯活動の充実
交通利便性の高い快適なまちづくり	交通利便性の向上	◎豊田北ライバス、県道120号古屋豊田線、西中山越戸停車場線の早期整備要望 ◎大室島坂線、豊田多治見線、豊田公園線、豊田学校通線、御領花本線、勤八線等の整備 ○豊田足助バスの活用
	拠点生活核、生活核の形成	◎豊田駅前・駅東駅前広場の整備及び周辺の住環境整備 ◎豊田停車場線、豊田駅東線の整備 ◎西郷駅周辺の一体的なまちづくりの推進
うるおいのある水と緑のまちづくり	水と緑のネットワークの形成	◎三河緑道線敷地を活用したネットワーク軸の形成 ◎龍川、水無瀬川、山田川、御殿川、矢作川等水辺空間づくりやネットワークの形成
	自然環境との調和	○お嶽山里山の整備
世代を超えて誰もが生き生きと暮らすまちづくり	コミュニティ活動の活性化	○豊田公園の整備 ○市民農園の整備 ○農ライフ創生センターの活用

: かなり優先度が高いもの

: 優先度が高いもの